

MANで拡大する韓国ブロードバンド市場 『Nトピア』が実現する新ネットワーク社会

世界において最も急進的なブロードバンドサービスの普及をみせている韓国通信市場。韓国最大のキャリア「Korea Telecom」では、イーサネット技術を用いたMAN構築を果敢に進め、超高速ネットワークによって実現される新たなサービスの創出を目指している。同社のマネージングディレクター、キム・チュンスク氏が同社のブロードバンド戦略を語った。



Korea Telecom
マネージングディレクター
キム・チュンスク

現在、韓国では総人口4600万人のうち、54%にあたる2500万人がインターネットを利用し、さらにその中の800万人がブロードバンドサービスに加入しています。つまり、全人口の18%がブロードバンドサービスを利用していることとなります。これは世界でもトップクラスの数値といえるでしょう。

また、韓国のインターネットの利用形態は従来「インターネットカフェ」が代表的でしたが、現在では、多くの人が自宅で超高速インターネットを利用するようになってきました。

韓国のインターネット接続技術の変遷をみていくと、最初はケーブルモデルからスタートし、1998年末からADSLの供給が開始されました。現在は利用者の60%がADSLを活用しています。そして、2000年から増え始めたのがLANサービスです。ここでは、光ファイバーとイーサネット技術を用いたMANサービスが提供されています。

さて、韓国におけるブロードバンドユーザーを爆発的に急増させた要因はオンラインゲームでしたが、最近ではテレビや映画の動画の配信を行うインターネット放送もその牽引力となっています。

韓国では大手の放送局がインターネット上で、テレビ番組の再放送を行っ

ています。また、ネット上での証券取引も盛んに行われています。昨年12月の統計によると、証券取引額の3分の2がネット上でなされています。これは、インターネットによる取り引きをめぐる問題のほとんどが解決されたということも意味しています。

これらのサービスの提供にはブロードバンドインフラが不可欠であり、私どももユーザーニーズに対応するためさまざまな取り組みを進めています。

1つがネットワークの拡充です。主要都市への光ファイバー敷設を進めるとともに、デジタルデバイドを解消するため、都市部以外の地域にも同軸ケーブルを用いた超高速ネットワークの構築を推進しています。

また新しい技術の取り込みも積極的に行っています。ADSLを始めSDSL、VDSL等、xDSL技術を用いたIPベースのLANソリューションや無線LAN、802.1xによるアクセス認証を用いたブロードバンドサービス、ホットスポットサービス「Netspot」の提供も開始しています。

特に最近ではイーサネットを用いた高速LANサービスが注目を浴びていますが、Korea Telecomでもイーサネットを用いたMANサービスを開始しました。『Nトピア』です。

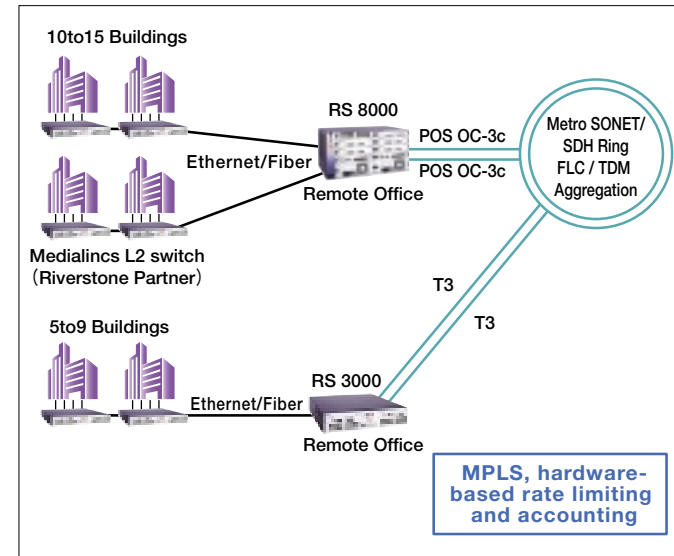
これは、韓国の大規模団地に敷設されたダークファイバーを通じて次世代イーサネット・サービスを提供することを目的としたもので、最大100Mbpsまでの超高速接続が可能です。

今後の私どものチャレンジは、情報格差の解決、有線・無線の統合を図り、ブロードバンドインフラを用いた新たな付加価値の提供です。その1つが「サイバードリームタウン」です。これは大型マンションの居住者など特定のコミュニティに対し超高速インフラを用いた多様なサービスを提供するもので、共同購入など電子商取引の新しいモデルが登場すると考えています。

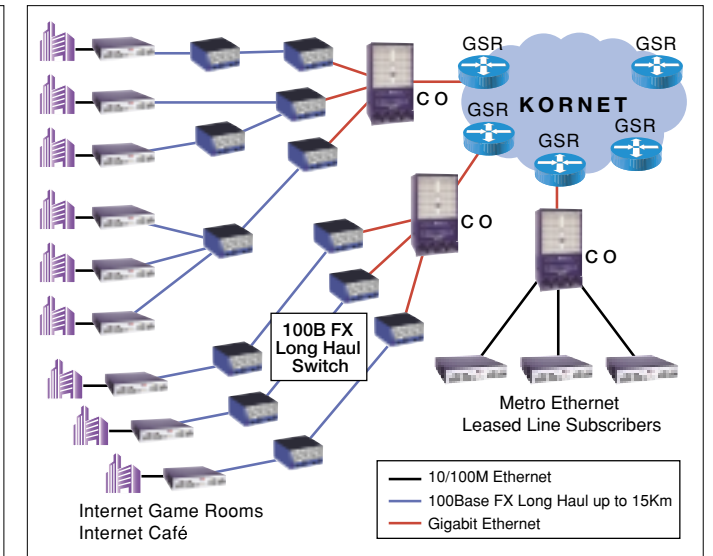
一方、企業向けに想定しているサービスが「Bizmeka」で、これは特定の業種、企業体の統合ネットワークを構築するための環境を提供するものです。これらのサービスを実現していくためにも超高速通信を実現するMANを構築していくことはかかせません。

私どもは、2002年は今年の4倍以上の顧客に対してMANサービスを提供していく計画です。今後、NトピアがMANサービスの利用者をますます拡大させていくでしょうし、ドリームタウンやBizmekaが提供されることで、韓国社会はさらなる情報化を推進していくものと考えています。

Korea Telecom- "Ntopia" Ethernet to the Home



Korea Telecom-Metro Core with RS 38000



高性能・高信頼のルーターが韓国ブロードバンドを支える



韓国リバーストーン・ネットワークス
韓国支社長 イ・ヒョンジュ

私どもリバーストーンのミッションは、顧客が新たな収益を生み出せるような付加価値ネットワークの構築を支援できる製品を提供することです。

製品ラインナップは大きく2つのカテゴリーに分けられます。メトロアグリゲーションルーターとメトロアクセスルーターです。

メトロアグリゲーションルーターには、ハイエンド製品のRS38000を始め、RS16000、RS8000/8600を揃えています。もう一方のメトロアクセスルーターはRS1000/3000があります。また、メトロ・エッジ・スイッチとして、新製品ES500も提供します。

これらの製品群はハードウェアASICによる超高速処理を実現しているほか、

E1、T1、TDM、さらにはイーサネットなど多様なインターフェースも用意しています。さらに次世代のMAN構築に対応するため、メトロMPLSや10ギガビット・イーサネット、RPRなどのさまざまな機能の搭載も進めています。MPLS、特にイーサネットをベースにしたEoMPLS機能は実際に商用サービスで利用されていますが、ハードウェアによるEoMPLS処理を実現しているベンダーは私どもだけです。

リバーストーンの製品群は信頼性、安全性で高い評価を得てきました。特にインテリジェンス、パフォーマンス、リライアビリティに対するユーザーの評価は高く、韓国最大の通信事業者であるKorea Telecomの次世代MAN

「Nトピア」の構築においても私どものシステムが全面に採用されています。

さらに最近では、同社が提供するインターネットカフェサービスの新ネットワーク構築においても、アグリゲーションルーターとしてRS38000、アクセスルーターとしてRS3000が採用されました。この2つのプロジェクトを通して、私どもはKorea Telecomに約650台のルーター製品を供給しています。

リバーストーンは、韓国では活動を始めたばかりの新興企業ですが、すでにKorea Telecomを始め、DACOM、PowerComm、Hanaro Telecom、Thrunetなど多くのユーザーを獲得してきました。これも私どもの提供するソリューション、製品群の優位性が認められた確かな結果であると思っています。

お問い合わせ先

リバーストーン・ネットワークス株式会社
 TEL : 03-3240-5750 FAX : 03-3240-5759
 E-mail : info@riverstonenet.co.jp
 URL : http://www.riverstonenet.co.jp